



No.16

# 那須塩原市 市民活動センター通信

(2022年12月)

開館時間：月～土 9時～22時

※17時以降は会議室の事前予約があった場合のみ開館。窓口での相談業務及び印刷機等の使用のみの利用はできません。

日・祝 9時～17時

休館日：水曜日・年末年始（12/29～1/3）

〒329-3157 那須塩原市大原間西1-11-10

TEL 0287-73-5741

FAX 0287-73-5743

E-mail

[shiminkatsudou@city.nasushiobara.lg.jp](mailto:shiminkatsudou@city.nasushiobara.lg.jp)

<https://www.city.nasushiobara.lg.jp/>

市民活動センター → 検索

## 【なすしおばら×協働サミット2022】開催

とき/2023年2月12日 日

開会13:30 (受付13:00～)

ところ/いきいきふれあいセンター多目的ホール

那須塩原市桜町1-5

駐車場/黒磯公園旧野球場グラウンド

定員/70名

お申込み・お問合せ

那須塩原市市民活動センター

河

内

屋

高林活性化委員会

子どもの育ちを応援する会

柴田直也氏

トーク  
イベント

第1部

居場所のチカラ。

話し手

高林活性化委員会

代表 君島 真実氏

特定非営利活動法人

子どもの育ちを応援する会

理事長 吉成 晴香氏

副理事長 芝本 沙南氏

聞き手

那須塩原市社会福祉協議会

相談支援包括化推進員

柴田 直也氏

表彰式

第2部

いいねの会@  
なすしおばら映像  
コンテスト'22表彰式

いいねの会

## 登録団体紹介

## 「アトリエ・アイ」代表 江川アイさん

東日本大震災から11年。  
原発事故により、多くの方々が福島から各地へ避難を余儀なくされました。  
辛く大変な経験は、できることならしたくなかったはずですが。

しかし、そのような経験をした江川アイさん（浪江町で被災）は、  
「福島を忘れない、忘れてはいけない」と、2つの事業を通し、  
私たちに伝えてくださいました。

一つ目は、11月3日に市民フェスタでの草木染作品展示です。  
江川さんは約30年前から草木染めを始められ、16年前から  
プリザーブドフラワーも手掛けておられます。フェスタでは、  
数多くある江川さんの作品の一部を展示してもらい、会場を華やかに  
盛り上げてくださいました。

二つ目は、経済産業省による地域のつながり支援事業を活用した  
『フラワーと染めを那須で楽しむ会』です。これは、避難者と地域の  
つながりを支援するための無料体験教室で、6月から約半年実施し、  
藍染やハーバリウム等、どの回もとても好評でした。

11月11日・22日の内容は、社会福祉  
協議会や婦人会などの協力のもと、  
老人福祉施設等への寄贈作品制作となり、  
「穏やかな年でありますように」  
と願いを込めた、見ているだけで心穏やかになる  
正月飾り用のプリザーブドフラワーの  
アレンジメントができあがりしました。  
寄贈先からも大変喜ばれ、江川さん自身も  
反響の大きさにうれしい驚きでいっぱいの  
ご様子でした。



フェスタ展示の様子



施設へ寄贈した正月飾り用  
プリザーブドフラワー



※ 江川さんから、次のとおりコメントをいただいております。

### 「フクシマを忘れないで」

福島県浪江町から10か所目の避難地、那須塩原市に住んで8年余り、皆様のご援助とご縁に感謝して居ります。

私が原発被害者、草木染創作者として、事故の悲惨さと故郷を失った怒りを表現した「無念と怒り」「海よ」「分断の線」を中心に今回のフェスタに展示し多くの方々に観ていただきました。

事故はまだ終わっていません。進行形で問題は山積されています。

- ・福島県の子どもの甲状腺がん増加  
※「県民健康調査」によると、令和4年3月31日までに237人が甲状腺がんの診断
  - ・汚染水の海への投棄問題
  - ・原発運転期間延長、新增設など
- 「フクシマの惨事、放射能汚染の恐怖を忘れないでほしいです」



制作して下さった皆様

2023年もよろしくお祈いします😊

市民活動センター職員一同

